

5-16

1930

五 一六 受領 〇〇 三〇〇 了 〇七 一五 〇七八 二八 作
至 急 〇 石 垣 皇 警 備 隊



東京通信隊・聯合艦隊口・掃一五
宮古島警備隊・沖根

機密第一五三三一〇番 三分、一

十五日戰報

一〇六 四五ヨリ一七四五迄敵艦聯合四乃至一二機五次ニ亘リ延三五
機撃テ南方ヨリ侵入陸海軍飛行場餘爆撃ノ為北東ニ退去 戦果撃破
三機 被害九六式機一機卷上
二左ニ變ミ紫電 機急速管方面ニ進出制空機機ヲノ上敵聯合機動部隊ヲ
撃滅スルハ沖繩戰ノ勝因ナリ。

一通信課註 本電三分ノ二三未着
編八七七八 天二Bヶ六(四七〇五K)直通 伊藤(松山)

五一七 受信〇〇二〇二 譯始〇四三〇〇 譯了 一〇四〇 電〇八四二八 作 概

至 急



高雄通信隊
東京通信隊・聯合艦隊口・沖繩根口・宮古島警備隊
佐世保通信隊

石垣島航空基地

機密第一五二三一〇番電三分ノ二

把握スル最捷路ナリト信ズ

(イ)米ハ先島列島ニ有力ナル部隊ヲ常置シ至近ニ游弋ス

(ロ)僅少ナル敵機ニ制壓セラレ味方ノ索敵攻撃意ノ如クナラズ且多數機

ヲ要スル陸軍部隊ハ飛行場無防禦ナル爲飛行機ハ適時進發不能處多

一電信課註 本電三分ノ二三既「布」

至急

五 一七

受信開始 〇四二〇八

了 〇四四五

電 〇八二九五

作 概

石垣島警備隊

高 通



東通・聯合艦隊口、宮古島警備隊、佐通、沖縄

機密第一五二三一〇番電

三分ノ三

(ハ)空戦能力貧弱ナル爲敵部隊ヲ攻撃スルモ 成果發揚至難ニシテ
空地下ニ味方航空兵力ノ無用ノ消耗率甚大ナリ。

一 電信線註 本電三分ノ一既配布
本電三分ノ二未 済

通九三二四 天二日ヶ六(四七〇五)高 通 高橋(繪田)

5-16

五 一六 作戰緊急

受信開始 〇六三〇 〇六四一

譯了 〇七一二

電 〇七七八〇

本機



天一號 作戰部隊



小藤 航 築 壘 地

機密第一六〇四三六番電

發 聯合艦隊參謀

〇三一八敵周邊 〇三二〇ヨリ 〇三五一迄 嘉手納灣及飛行場方面 對空照
射砲擊熾烈ナル中 予友軍機ノ攻撃スルヲ認ム 戦果益々不詳 蘇沈ラシキ
モノ 一炎上一 (〇) 應三五迫 (北飛行場大火災一)

通八八一七 才一六 (七八七五心) 一 K F G E 放 田甲 (木 下)

5-16

1934

作戰緊急



一機動基地航空部隊

大島防

喜界航空基地

機密第一六〇八〇二番電

〇四五五 F六日二機來襲飛行場及部落概燃撃〇五二二 二九〇度
二安ル滑走路長サ一二五〇米幅一〇〇米使用可能。

通八八五五 於十六(七八七五) (二日) 放 阿部(敵 田)

五 一六 受信一五〇五 歸了一六三〇 電〇七九九五 作 概〇
開始〇五五〇 航 本



◎ 天一號 作戰部隊

◎ 小祿 航空基地

機密第一六〇八一七番電

發 聯合艦隊參謀

五月十一日以來敵ノ來襲機數ハ激減ノ一途ヲ辿リ(十一日一六七機
十五日三四機)其ノ缺ヲ滯空時間ノ延長(戰團機ハ六時間トBFモ
稀ニ五時間ニ及ブ)ニ依リ補ハシツツアリシガ本日來襲低調ニシテ
〇七五五ヨリトBF一六機、BF四〇一 一機行動開始セリ。

通八九九二 呂一B(七八七五KC)一KFGB放 小 森(吉 田)

一六 受信二〇三四 歸了二一三二 電〇八一八一 整基◎

東京、舞鶴各通信隊・滋賀空・鹿屋航空基地

機密第一六〇八三四番電

宛 舞鶴鎮守府司令長官 第二三聯合航空隊司令官

通報 航空本部總務部長 第五航空艦隊參謀長

特別第一報告第四號

機密舞鶴命令第五號ニ依ル美保基地整備昭化工事（橋本隧道式施設ヲ除ク）二月十五日完了ス尙追加工事トシテ滑走路西端ニ幅三〇米長サ四〇〇米ノ連絡路ヲ設置五月二十五日竣工ノ豫定。

通八九四六 呂一Bケ十一（B）舞鶴 才木（松山）



Faint, illegible text on the right page, possibly bleed-through or a very light print.

1937 5-16

五 一六 受領 一〇〇〇 一三三〇 電〇七九三一 作 概〇



陸 軍 (東 通)

一六一〇八四六

發 聯合艦隊セ島參謀
宛 第三二軍ジン參謀
貴電受領ハ、旺盛ナル意志ヲ以テ作戦ノ確立ヲ期セラレアリ切ニ
建闘ヲ祈ル。

通八八五六 協 作 (B) G F P 川本 (塩 田)

Faint, illegible handwritten text on the right page.

南 空 急

八四五

台 南 航 空 基 地



- 第五基地航空部戰術情報所
- 一三航空監察隊、天航空部隊

機密第一六〇九四六番電

二分ノ一

發 南部攻擊部要指揮官

機關報(五月十六日)

一 陸軍攻擊機七機(五時七〇) 一式陸攻三 九六陸攻一 五七〇五
 一式陸攻三(〇二一〇一〇三四五沖繩北飛行場) 五機〇八〇〇送
 一 附屬一機〇六一五六村着二機一五七〇二分隊長機(戰果電報發信
 後連絡中、消息不明)

戰果炎上一三機發二火災一。

一 電信課註 本電二分、二既配布

通九〇三九 呂一B(一〇二六五) 六時・五ノ一 廣井(吉) 田

五一六 發信一四五八 譯了一七二〇 電〇八〇九二 航作機本〇

要旨



① 一〇二戰隊
② 海上設備總口・領警口・九〇一空 (領海空基地)
機密第一六一〇(八番電)

一四四 參謀長 一〇二戰隊

一〇二戰隊機密第一五二二〇五番電返

今次ハ航空部隊ノ改編ニ伴ヒ新作戦ニ關シ打合ハスコトトシ航空
參謀通信參謀ノミヲ派遣サル。

〔東通駐 新ノ個所ハ五編附成ノ譯モアリ〕

通九〇〇四 天二Bケ一 (九八三〇K) 佐二放 小官 (細川)

昭和九年五月拾七日

昭和廿年五月拾七日

五一六 受信一三五五〇 諒了一四三〇 電〇七九四八 航作 本〇

緊急

● 總無線機所用共通符號

● 喜界、串良各航空基地



● 天航空部隊作戰命令着信機所

機密第一六一〇三五番電

T F B 信電令作第三六號

第九三一航空隊司令ハ成ルベク速ニ天山一機ヲ以テ喜界島串良間ノ輸送便ヲ設定スベシ(第七〇一航空隊司令木田大佐迎へ)

通八九二〇 呂一日々十一(七八七五K)一K F G B 放 久保田(雨 谷)

五一六 受信一七四五 譯了一八三〇 電〇八〇三七 航概本〇

至急



- 甲本航空隊・館山航空基地
- 人事局長・吳、佐世保、舞鶴、横須賀各人事部長、指宿、佐世保、美保各航空基地
- 機密第一六一〇四〇番電

發 戰團第三〇四飛行隊

天號作戰ノ爲館山甲本ヨリ鹿屋甲良指宿佐世保ニ進出中ノ搭乗員整備員中九〇三空在籍者ニ對スル人事ハ十五日ヨリ九〇三空本隊ニ於テ處理セラル基加員名簿履歷書考課表至無例送付サレ度。

通九〇四六 呂一〇六一一 (B) 大溪 (細川)

昭和十六年五月拾七日

五 一六 受信一七四〇 了〇七四〇 電〇八三五一 航本概〇

作戰特別緊急

臺灣空

五基地航空部隊

五基地航空部隊戰國概報着信艦所



機密第一六一二〇三番電四分ノ一

新竹攻撃部隊戰國概報 (五月十五日)

一六二五 九七式艦攻二機慶良間ヨリ敵艦船特攻攻撃ノ爲發進セル
モ出發後ヨリ連絡ナク消息不明

一六四七新竹ヨリ天山一機一七一五宜蘭ヨリ天山二機沖繩周邊敵艦
船雷撃ノ爲發進宜蘭發進ノ一機ハ概ハ戰場到達豫想時刻迄連絡ア
リシモ爾後消息不明他ノ一機(分隊長機)新竹ヨリ發進セルモノ
ト途中ニテ合同進撃久米島ノ若干西方ニテ分離

電信課註 本電四分ノ三三四既配布
東通註 本電誤字極メテ多キ爲遅延
通九〇五七 呂一Bケ一(一二三四七、五K)五G B放 兒玉(小林)

5-16 8461

作戰緊急



五基地航空部隊

五基地航空部隊 概報着信處所

機密第一六一二〇三番 四分ノ三三四

一九三〇度良間列島及久米島中間附近巡洋艦又ハ大型驅逐艦五江六隻
 二對シ突撃中移ラントモルニ敵小型艦高速ニテ煙幕ヲ展張シ始メタル
 以テ攻撃断念一九三五久米島南東五十六哩附近ニテ大型驅逐艦發見
 雷撃擊沈確實(全長ノ約二倍ノ高サ迄火柱立上リ爾後空中ニ火ノ粉多
 數アリシ點ヨリ見テ滿載中ノモノト判断ス)同時刻先ニ敵發見位置ニ
 大火柱ヲ確認セリ宜蘭經由十六日〇六五〇時着他ノ一機ハ久米島附近
 通九〇六八、九〇八三、九〇八六 呂一〇七十一(一二三四七五) 五P.G.放
 (襟港)

志津山山下
アイ澤
(襟港)

五... 開始一八五〇... 〇〇九一四五

ニテ分離後消息不明ナルモ歸投後ノ確證ハ本機ノ戰果ハ本機ノ戰果ナリ
 且テ確實ニシテ當時防禦銃火極クテ熾烈ナリ見テ巡洋艦又
 ハ大型驅逐艦一雙擊沈後防禦砲火ニ依リ被彈自爆セルモ不測ナリ
 三一七五〇月光一機中城灣在泊敵艦船爆撃ヲ爲投進セルモ途中ニテ
 動機不調トナリ宮古不時着修理ノ上出發セシメタルモ修理ニ長時間
 間ヲ要セシ爲攻撃斷念十六日〇六四〇歸投セリ。

（電信果註 本電四分ノ一未着）



五 一六 受信二二一五〇 譯了〇二 四五 電〇八三五〇 作 概
 一七 譯始〇二一五〇

至 急



海軍總隊口
 大海參一部

六航空派遣通信隊

機密第一六一四四二番電 五分ノ二

六月末概成ハ不可能ト 認ム何レモ部隊兵器共ニ未進出ナリ 次ノ如ク

キ 缺陷アリ
 (一) 偽裝ニ對スル著意殆ド認メラズ築城五島列島水平砲臺特ニ要塞地
 帶基地等ハ其ノ尤モ迷彩不自然ナリ

(二) 關係部隊未進出ナリ

(三) 現地海陸軍間ノ連絡一般ニ不良特ニ施設關係ニ於テ甚シ

(四) 水平砲臺ノ築城一般ニ覆土少シ洞窟ト謂フモ名ノミニシテ。

（電信果註 本電五分ノ三四既配布、五分ノ一五未着）
 通九一九七 呂一〇ケ十一（B）佐世保 久保田（川口）

至 急

開始 〇一〇〇

六航軍派遣通信隊

作

海軍總隊 大 海 參 一 部

機密第一六一四四二番電 五分ノ三

甚シキハ露天砲ノトコロアリ又配備位置現地陸軍部隊ノ作戰計畫ト吻合シ非ルモノアリ

對馬壹岐防空火器皆無ニ近ク僅ニ對馬附近海軍十二連高角砲四臺進出

(未裝備)セルノミナリ

朝鮮海峽ニ於ケル綜合防備力極メテ劣弱ナリ之ヲ對策

- (1) 對馬方面ニ特攻隊隊若ハ根據地隊ノ新設
- (2) 對馬壹岐方面水面砲臺直掩防空火器配備。

(通信課註 本電五分ノ四ノミ既配布)

通九二一八 呂一〇ケ十一 (日) 佐世保 長谷川 (土 谷)

至 一六 開始三三〇〇六 關了二三三一 電〇八二四八 作 海



海軍總隊 一部
大海

六航空派遣通信隊

機密第一六一四四二番電 五分、四

(3) 時政及水平砲台ト共ニ速ニ部隊ヲ進出セシメ技術ト用兵トヲ明合セシム

(4) 方面軍各領警航空機隊ノ現地協定ノ急速實施

(5) 機裝ニ關シ全般注意ヲ喚起スルノ外所要ノ機裝網造料等ヲ中央ニ於テ準備ス

(6) 朝鮮海峡ニ對スル敵飛行艇ノ警戒及偵察封止

電信課註 本電不分、二三、五未着

編九一九八 呂一〇ケ十一 (五二〇〇ケ) 佐通 照照 (松山)

